

「VICTORY!」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグクラブのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい、そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ

7シーズンを闘った清水を離れ、今季湘南に移籍加入。

J1で築いた実績は申し分ない。

ずば抜けた反射神経から魅せるシュートストップで

幾度もチームのピンチを救った頼れる守護神。

今回はベテラン西部洋平選手にゴールキーパーの仕事が
サッカー初心者にも分かりやすく話してもらった。

「守護神」という仕事

――試合中は、フィールドプレーヤーから離れていて少し孤独なポジションのように見えますが。

ゴールキーパー（GK）って重要なポジションですが、Jリーグではまだまだ地味な存在ですね。ヨーロッパではチームの中でGKが一番人気があったりするのですが、日本でも早くそんな時代が来るといいなあと思います。

ただGKが活躍するのは、相手チームのシュートを浴びているとき。攻められているときなので、あまり良い状況ではない…微妙です。

ゲーム中は、ゴールを決めたときに喜びの輪に加われなかったり、仲間に子どもが生まれたときの「ゆりかごダンス」も遠くから見ていただけ。ちょっと孤独感があります。参加しようと思えばできないことはないんですけど…広島の西川（GK 西川周作選手）は、距離があっても行きますね。そういう選手もいます。ただ僕は、「もし何かあったら」と考えると出来ないです。難しいですね。

――試合中、どんな声かけをしているのでしょうか。

戦術的なこと、メンタル的なこと、準備するべきことです。試合中は、声援が大きいので前の方まで声が通ります。声かけは、ほとんどDF（ディフェンス）、最終ラインに対してです。味方が攻めているときにDFラインがどんな準備をするべきか、相手に対してのマークの確認など、リスクマネジメントをGKから伝えます。

スカウティング（事前の調査）と違っていたときにピッチの中（選手同士）ですぐに対応できるのが理想です。

それから時間配分やペース配分を指示したりもします。「ここはゆっくり落ち着いて」とか「我慢の時間帯だ」とか。今季の試合のように得点力が足りなかったり、DFが苦しいときは、GKがうまくゲームをコントロールしなければなりません。

――ゲームをコントロールするというのは、具体的にどんなことをするのでしょうか。

少しボールキープして、みんなを落ち着かせたり一息入れさせたり。大袈裟に言えば【1-0】や【2-1】でリードしているゲームなら、その後の試合のシナリオを作っていく、くらの気持ちでやっています。

ただ、間（ま）を取りすぎて、今季は遅延行為でイエローカードを3枚ももらってしまいました。（遅延行為：試合を意図的に遅らせる行為に対する警告）それだけ苦しい試合が多く、何としてでも勝ちたい気持ちが強かった。ワンシーズンに3枚なんて初めてです。これは反省です。

――試合中は、どのように視線を動かしているのですか。

集中してずっとボールを追いかけています。ボールの動きとそれに対応する選手を見ながら「次はどうなるんだ」って予測しながら。チームの仲間には「キーパーって、走らないし楽でしょう」って言われるけれど、90分間ピリピリしてボールを追っているとなかなか疲れるんです。唯一、味方のコーナーキックのときだけが、水を飲んで一息つくチャンスです。

――ゴールキックで、ボールを近くにいる味方に転がすときと大きくロングボールを蹴るときとがありますね。この違いを教えてください。

自陣にいる味方にボールをパスして、早いパス回しで自分たちの攻撃の形を作るとするのが理想です。ただ試合の流れが相手にいっているときは、自陣にボールがあるのは大きなリスクです。だから苦しい時間帯は、ロングボールを蹴って、一度相手の陣内にいれます。大きくボールを蹴ると、必ずしもマイボールになるわけではないので、そこはこぼれ球を拾うことを狙います。

チームの作戦によってどちらを選択するかはそれぞれですが、昨年、一昨年のメキシコ代表は、一切ロングボールを蹴らなかったですね。Jリーグではそこまで徹底しているチームはありませんが、どちらかというとうら島は自陣からパスをつないでいくことが多いチームです。

ボールを保持し、つないでいるほうが、時間もかけられて有利に展開できます。しかしうまく攻撃を組み立てるチーム力と自信がないと、なかなかできないものです。

――今シーズンも残り少なくなってきました。競技場で応援する観客の方に、西部選手のプレーの見どころを教えてください。

サポーターの皆さんが僕に求めているのは『スーパーセーブ』だと思えます。他のGKでは絶対に取れないようなボールを取る。「それを取るの?」っていう『スーパーセーブ』が西部洋平の代名詞と言われるよう、応援してくれる皆さんの期待に応えていきたいと思えます。

今季も残り少なくなってきました。厳しい状況ではあるけれど、目標はあくまでも『J1昇格』。決して諦めずに最後まで戦い抜きます。（インタビューは10月5日に実施）

西部選手といえば…

昨年のアウェイ、日本平での清水エスパルス戦。清水のGKを務めていた西部洋平選手が湘南エメルソン選手のコーナーキックを弾き出してゴールネット倒れこんだ際に、ネットを支えるバーが折れてしまうアクシデントが…。修理のために試合は中断、前半のロスタイムは異例の12分となった。0-0だった試合は、そのロスタイムの終盤に小野伸二選手がゴールを決めて清水が先制し、これをきっかけに流れは清水へ。後半にも追加点を重ね、結果【5-0】。この試合に敗戦した湘南はJ2への降格が決まった。

当時のことを西部選手に聞くと「あんなふうにはバーが折れるなんて信じられないですね。あの試合はベルマーレにとっても大事な一戦、『空気に、読めないな〜』とか、散々



GK No. 21
西部 洋平

西部 洋平 (にしべ ようへい) Profile

1980年12月1日生まれ(30歳) 兵庫県神戸市出身
高校(帝京第三高)からサッカーを始め、高校卒業後プロ入り(浦和レッズ)という異色の経歴。経験豊富な守護神は、絶対的存在感を放つ。
186cm / 79kg

言われました。あの時点で湘南に移籍する話はまだ全然なかったけれど、なにか縁があったのかなあ…。湘南に来てからも『ゴール壊さないでね』って、よく言われますよ。あの折れたバーは、作った人が記念に欲しいということで、サインを入れてあげました」と苦笑。

2010 J1 リーグ戦 11月14日(日) 第30節 清水対湘南
(写真左) 青のユニフォームがGK西部選手

HOMEGAME INFOMATION

10月22日(土) vs. FC岐阜

平塚市民デー & イールアップ
スペシャルデー

10月22日(土)のFC岐阜戦は「平塚市民デー」と「イールアップスペシャルデー」として開催。平塚市に在住・在勤・在学の皆さんは、お得な「市民デーチケット」をご購入いただけます。前売りでご購入の場合は、発行された引換券を試合当日に必ずお持ちください。

また、オフィシャルクラブパートナーのイールアップから素敵な来場者プレゼントやイベント参加者の募集を受け付けています。

ご近所、ご家族、ご友人をお誘い合わせのうえ、平塚競技場にお越しください。

10月26日(水) vs. 京都サンガF.C.

「湘南OB vs 芸能人チーム」スペシャル
エキシビジョン 開催!

京都戦に先立ち17:20より湘南OBと芸能人チームによるスペシャルエキシビジョンマッチを開催。「スキマスイッチ」の常田真太郎さん率いる芸能人チーム「SWERVES(スワープス)」を、ベルマーレゆかりの名選手が迎え撃ちます。スワープスは、常田さんをはじめサッカー好きの芸能人で構成された非営利団体で、ミュージシャンのGAKU-MCさんや、元Jリーガーの平野孝さんらが所属。対する湘南OBチームは、元日本代表の若本輝雄さん、名長橋晃さん、小島伸幸さんや、ベルマーレスタッフでU-15監督を務める加藤望さん、強化部 田村雄三さんらベルマーレレジェンドが参戦。昨季途中で、ケガのため退団したDFジャンさんの来日も予定されておりベルマーレファンには見逃さない一戦となること間違いなしです。

●ホームゲーム試合日程 ※会場はすべて平塚競技場

節	開催日	キックオフ	対戦相手
32*	10月22日(土)	14:00	FC岐阜
7	10月26日(水)	19:00	京都サンガF.C.
34	11月6日(日)	16:00	FC東京
36	11月19日(土)	17:00	徳島ヴォルティス

※10/22 平塚市民デー

◇対象 平塚市に在住・在勤・在学の方

◇平塚市民デーチケット価格 ※前売り・当日とも同額
自由席(大人):1,500円(通常一般当日価格:3,000円)
自由席(小中高・65歳以上):500円(通常一般当日価格:1,000円)

※ご購入の際には身分証明書(免許証、保険証、社員証、学生証)の提示をお願いします。